

XEBECセラミック砥石 取扱説明書

ストーン 軸付砥石 / マイスターフィニッシュ / 耐熱砥石 / ダイヤ / 弾性砥石 / ペンシルタイプ

使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。読み終わった後は本製品の近くに常に保管し、作業者がすぐに参照できるようにしてください。

警告

本書記載の内容を必ずお守りください。本書記載の内容以外でお使いになると下記のような重大な傷害や損害につながる恐れがあります。

全製品共通

- ▲加工に伴い発生する本製品の研削粉やバリ等が目や肌に刺さり、作業者が失明・怪我をする恐れがあります。
- ▲加工に伴い発生する本製品の粉塵は、肺障害、皮膚刺激、アレルギーを起こす恐れがあります。

マイスターフィニッシュ (丸棒タイプ)、ストーン軸付砥石 のみ

- ▲作業前確認で問題がなくても、使用中に振動等の異常が生じた場合は、直ちに使用を中止してください。異常のまま使用を続けると、回転工具からの本製品の抜け、砥石部の破損や抜け、部品の破断により、作業者が失明・怪我をする恐れがあります。
- ▲ツール先端部は定点で長時間加工すると高熱となり、砥石部の破損や抜けにより、作業者が失明・怪我をする恐れがあります。高熱にならないよう加工部位の加工時間の調整を行ってください。また、使用後に加工部位を直接手で触れないようにしてください。
- ▲適用穴径に対応したツールをお使いください。砥石径が小さすぎる等、適用穴径に対応していないツールを使った場合は、回転工具からの本製品の抜け、砥石部の破損や抜け、部品の破断等により、作業者が失明・怪我をする恐れがあります。
- ▲回転速度は、使用上限回転速度を超えて使用すると、回転工具からの本製品の抜け、砥石部の破損や抜け、部品の破断等により、作業者が失明・怪我をする恐れがあります。

作業者の安全対策

保護具の着用

保護メガネ・保護マスク・保護手袋・防音用イヤーマフ等の保護具を必ず着用してください。また、長袖服等肌を出さない服を着用し、袖口・裾をきちんと閉じてください。

作業場周辺への注意

- 作業場周辺に作業以外が立ち入らない囲いを設置し、作業場周辺の方も保護具や肌を出さない服を着用してください。
- 埃や研削粉、油、水などで滑ったりつまづいたりする危険を避けるため、作業場の床は常にきれいに保ってください。
- 本製品の使用により、加熱、火花などが原因で火災が発生する恐れがあります。引火性の液体の近くや爆発性雰囲気の下では使用しないでください。また、作業場では必ず防火対策を行ってください。

研削粉に注意

作業中に発生する破片や研削粉等は、周囲に飛散します。防塵マスクを着用し、集塵機等により集塵を確実に行ってください。

特長

- 本製品は根元厚み0.2mm以下の機械加工後の微細バリ研削や、研磨を対象としています。
- ワーク形状に合わせて、ツール先端を簡単に成形できます。成形にはダイヤモンド電着砥石を使用します。
- HRC57までのワークであれば、アルミ、ステンレスなど材質を問いません。
- ストーン軸付砥石のヘッド部、マイスターフィニッシュ (丸棒タイプ)、ダイヤ、ペンシルタイプは砥石全面に研削性があります。
- マイスターフィニッシュ (丸棒タイプ、スティックタイプ)、耐熱砥石、ダイヤ、弾性砥石を手で直接握んで使用できますが、オプションの「スティックホルダー」に砥石を保持することで作業性が向上します。(「本製品を回転させないで使う場合」をご覧ください。)

本製品を回転させて使う場合

マイスターフィニッシュ (丸棒タイプ)、ストーン軸付砥石

作業前確認

作業開始前には1分以上、回転工具または本製品を取り換えた時は3分以上の試運転を行い、機械、本製品取り付け部の緩み、振れ等、異常の無いことを確認してください。

使用上の注意事項

回転工具への装着

- ▲回転工具に装着する際は、「マイスターフィニッシュ (丸棒タイプ)」はツール部分を30mm以上、「ストーン軸付砥石」はツールシャックを20mm以上で確実に把握してください。指定把握長さ未満で把握した場合、加工時の振動により、回転工具から本製品が抜ける恐れがあります。これにより、作業者が失明・怪我をする恐れがあります。
- ▲使用上限回転速度以下で使用してください。使用上限回転速度を超えて使用すると、本製品の破損により、作業者が失明・怪我をする恐れがあります。
 - 「ストーン軸付砥石」の使用上限回転数は60000min⁻¹ (ただし、AX-PM-5RFは30000min⁻¹) です。
 - 「マイスターフィニッシュ (丸棒タイプ)」の使用上限回転数は30000min⁻¹ (ツール全長が50mm以下の場合) です。
- ▲「マイスターフィニッシュ (丸棒タイプ)」を回転工具で使用する場合は、50mm以下にカットしてご使用ください。50mmを超えた本製品を回転工具で使用すると、回転工具から本製品の抜け、砥石部の破損等により、作業者が失明・怪我をする恐れがあります。
- 取り付け時は、把握部分の径に合ったチャックをご使用ください。また、φ2mm以下の「マイスターフィニッシュ (丸棒タイプ)」は、回転工具では使用しないでください。

本製品を回転させないで使う場合

マイスターフィニッシュ (丸棒タイプ、スティックタイプ)、耐熱砥石、ダイヤ、弾性砥石、ペンシルタイプ

使用上の注意事項

ホルダーへの装着

「ペンシルタイプ」は、当社指定ホルダーに1本ずつ装填し、ご使用ください。(2本以上装填するとホルダーに詰まる場合があります。)

振動工具への装着

- 振動工具を使用される時は、工具に添付の使用上の注意及び説明書をお読みの上ご使用ください。
- 「弾性砥石」(BS-2006M、PBS-30M)は振動工具で使用できません。

取扱い方法

乾式・湿式加工

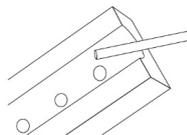
乾式、湿式どちらでも使用可能ですが、湿式加工は目詰まりを防止し、加工効率が向上します。

ツルーイング、ドレッシング

砥石形状に変形を生じた場合は、ダイヤ電着砥石にツールを回転させながら砥石外周を軽く押し付けて、形状を整えてください。

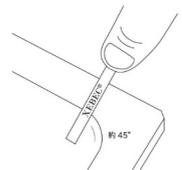
丸棒タイプの場合

- 丸棒タイプは回転工具 (電動式、エア式) に取り付けすることで、効率よくお使いいただけます。
- 丸棒タイプ砥石は全面 (先端・側面) を使用できます。
- 先端を使う場合は、磨き面に対し約45度で使用してください。



スティックタイプの場合

- スティックタイプは振動工具 (電動式、超音波式、エア式) に取り付けすることで、効率よくお使いいただけます。
- スティックタイプを超音波式振動工具でご使用の場合は、「耐熱砥石」をおすすめします。耐熱温度は200°Cです。
- スティックタイプは先端部を使用し、磨き面に対し約45度で使用してください。※「ダイヤ」は全体にダイヤが入っているため側面 (ハラ) でも研磨できます。



株式会社ジーベックテクノロジ
〒102-0083東京都千代田区麹町1-7-25フェルテ麹町1・7ビル
TEL (03) 6893-0810 FAX (03) 5211-8964
©2018 株式会社ジーベックテクノロジ

本書は下記でもご覧いただけます。
<http://www.xebec-tech.com/>

STONE 20201117J
制作2020年11月